

鉄黒コートに導く押さえ所

稲作農家にとって、春の種まきから田植えまでは（育苗管理・本田の耕起・代掻き）等で、猫の手も借りたい程に多忙を極める。大規模農家や兼業農家にとっても一大関門である。

この難関を「鉄黒コート（特許登録済）直播」を導入し、上手にクリアしている2人のベテラン稲作農家を取材。直播を成功に導く押さえ所などをお聞きした。少費・省力化を進めるための参考になれば幸甚である。

— 編集部 —



A氏の刈取り直前の圃場



鈴木 茂氏と刈取り直前の圃場

出来ることに満足している。
また、コーティング後に熟が出ないので、催芽種子でも鉄黒コーティングで芽を傷めることもなく出芽までの時間が短縮され、且つ出芽率が高いように感じているとのこと。A氏の刈取り直前のイネは、転作復帰田で少々倒伏が見られた以外は、健全なイネ型で取



▲7月10日現在の圃場のようす

表2. 鉄黒コート直播 耕種概要 兼業農家A氏

品	種	はえぬき
鉄黒コーティング実施月日 (原料の配合割合)	種子 10kg	黒顔料 5kg バインダー 1kg
播種日・播種量	5月6日	5.5kg/10a
播種直後の水管理	播種した直後は入水せず一晩か一昼夜たってから入水開始、30a 3~4日かけて浅水にする感じにしている。	
施肥	土作り資材：炭カアツブ 200kg/30a	
(成分基)	N 9.6kg/10a	P 6.2kg/10a K 6.2kg/10a
穂水	中干しは強めに実施。液体ケイ酸の使用 (KSK28)	
除草体系	初期除草剤 中期や一発剤 後期	オサキニ粒剤 ピラクロエースフロアブル ワイドパワー
防除体系	病害虫 (イモ手病・殺虫剤) トレボンエア モンカッタプロサイド20 ダブルホットフロアブル スタークル液剤10	7月4日 7月22日 8月5日 8月19日
出穂期	8月10日頃	
穂揃期	8月14日頃	

利点は、①熱を出さない
ので催芽種子でもコー

約10町歩程の大規模経営に加え農協理事も勤めながら頑張っている鈴木茂氏は、今から十数年前から鉄コーティング直播を実践されてきた。酸化労力を省いた密封式でやっていたが、2年前から鉄黒コーティング直播に変えた。

表1. 鉄黒コート直播 耕種概要 鈴木 茂氏

品	種	はえぬき
鉄黒コーティング実施月日 (原料の配合割合)	種子 10kg	黒顔料 5kg バインダー 1kg
播種日・播種量	4月2日	4.5kg/10a
播種直後の水管理	圃が強い地域であることと、除草効果を高める水管理。	
施肥	土作り資材：じかまき君・みなくちNK	
(成分基)	N 8.8kg/10a	P 5.6kg/10a K 5.6kg/10a
穂水	1.0kg/10a	kg/10a 0.5kg/10a
除草体系	初期除草剤 中期や一発剤	オサキニ ボディーガードフロアブル
防除体系	病害虫 (イモ手病・殺虫剤) ビームエイトスタークル キラップフロアブル	8月7日 8月16日
出穂期	8月18日頃	
穂揃期	8月21日頃	
刈取り	10月3日	

前記鈴木氏と違い、本業が勤めで稲作が副業といった形態なので2町4反5反全面積で「鉄黒コート」の直播を実践されていた。一番の利点は育苗時の温度管理や、かん水の手間が不要であり、動機に専念

最も移植イネと遜色ない程の素晴らしい出来映えであった。
尚、今年一番に留意した点としては播種直後の入水の仕方（耕種概要に記載）と、水持ちの悪い圃場でも、水を出しっぱなしにして

は種子が土中にもぐってしまうので時には止水したり、こまめな水管理に努めた。
また、出芽時期の落水は鳥害を招く。どうしても場合は夜間落水し翌朝には入水開始としている。

ティンクが出来、出芽までの時間が短い、②出芽揃いが良い、③酸化的ための広いスペースが不要。
留意されている点として、特に風の強い地域であることから、こまめな水管理を心がけている。

また、除草効果を高める水管理に努めているとのことと、刈取り直前の写真にある通りヒエが1本もないきれいで見事な圃場であった。
一方、兼業農家A氏の場合は、